

あおぞら

行方市 社協だより

No.37 2015.6.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲403番地
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>



行方市ボランティア連絡協議会研修会（関連記事は P10 に掲載）

P 12

善意銀行・編集後記

P 9-11

トピックス・お知らせ

P 8

社協のさーびす◎

P 6-7

福祉な声

P 5

いきいき長寿者紹介

P 4

平成27年度予算

P 3

平成27年度事業計画

P 2

会長あいさつ

目次

会長あいさつ



社会福祉法人行方市社会福祉協議会

会長 鈴木 周也

平成27年度第1回広報誌「あおぞら」を発行するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

日頃より皆様方におかれましては、行方市社会福祉協議会の事業推進にご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、今日の少子高齢化の進行や家族機能の脆弱化等により、地域福祉を取り巻く環境は大きく変化しており、利用者の福祉へのニーズも複雑化・多様化する中で、一人ひとりに合ったきめ細かなサービスが求められています。

このため、今年度におきましても「あなたが支えるふるさとなめがた」を基本理念として、市民が安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、障害者（児）福祉や子育て支援の充実、災害等ボランティア活動の支援などに、住民・行政・関係団体等との協働のもと取り組んでまいりますので、皆様方の一層の温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年度行方市社会福祉協議会事業計画

社会福祉協議会（社協）は、社会福祉法に基づき、すべての都道府県、市区町村に設置され、住民主体の地域福祉活動を推進することを目的とした非営利の民間組織です。

誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりの実現に向けて、住民の皆さんと共に考え取り組んで参ります。

地域福祉事業

- 高齢者福祉事業
 - ・給食サービス事業
 - ・介護予防事業
- 障害者福祉事業
 - （１）介護予防教室
 - （２）高齢者サロン
 - （３）ひとり暮らし高齢者見守り事業
- 障害者（児）福祉事業
 - ・びつくり・発見・夏キャンプ
 - ・のびのびサポート事業
 - ・視覚障害者用録音物配布事業
 - ・障害者スポーツ大会参加者支援
 - ・こころのサロン
- 母子・父子福祉事業
 - ・ひとり親家庭事業
 - （１）ふれあい遠足
 - （２）新入学祝品贈呈
- 子育て支援事業
 - ・子育てサポート事業
 - ・養育支援訪問事業
- ボランティア活動の推進
 - ・ボランティアセンターの運営強化
 - ・ボランティア講座の実施
 - ・ボランティアグループの育成・援助
 - ・福祉教育の推進
 - ・災害ボランティアセンターマニュアルの策定
- 共同募金運動
- 歳末たすけあい運動
- 福祉関係団体の支援

相談支援事業

- 法律相談事業
- 日常生活自立支援事業

資金貸付事業

- 生活福祉資金貸付事業

在宅生活支援事業

- 福祉機器（車いす等）貸出事業
- 福祉車両貸出事業
- 訪問歯科治療器具貸出事業
- 在宅生活リハビリアドバイザー事業
- 在宅福祉サービス事業
- 軽度生活援助事業

広報啓発事業

- 広報誌「あおぞら」の発行
- ホームページの管理運営

介護保険事業

- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業

障害者総合支援事業

- 居宅介護
- 重度訪問介護
- 同行援護
- 行動援護
- 計画相談支援
- 就労継続支援B型

地域生活支援事業

- 移動支援事業
- 地域活動支援センター

その他社会福祉関連事業

- デマンド型ミニユニティバス（乗合タクシー）事業

当事者団体支援事業

- 行方市ボランティア連絡協議会
- 行方市老人クラブ連合会
- 行方市身体障害者福祉協議会
- 行方市遺族会



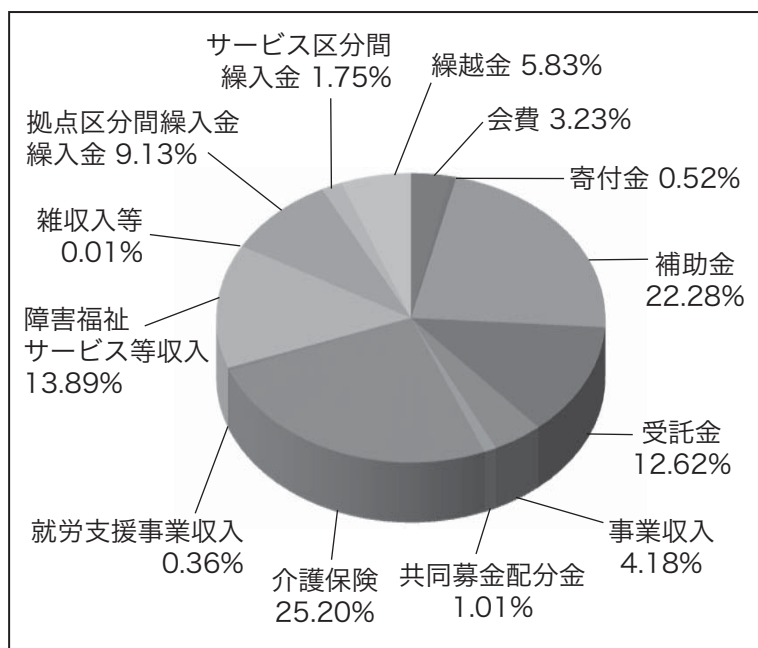
平成27年度行方市社会福祉協議会予算

平成27年度予算は3月に行われました理事会・評議員会で議決されました。住民の皆様からの会費や介護報酬のほかに市からの補助金・受託金や共同募金等で様々な福祉事業に役立てられます。

一般会計 318,491,000円

収入

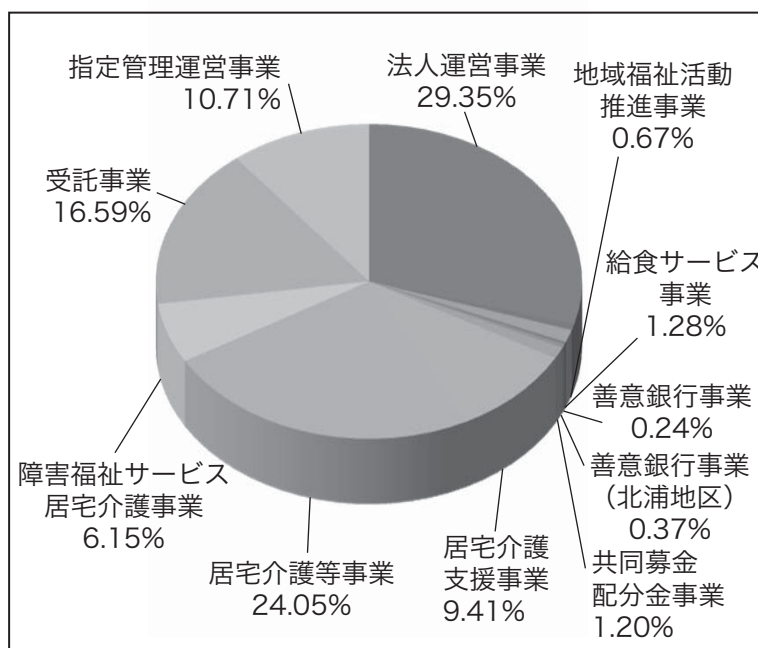
(単位：千円)



会費	10,280
寄付金	1,660
補助金	70,950
受託金	40,187
事業収入	13,311
共同募金配分金	3,206
介護保険	80,265
就労支援事業収入	1,143
障害福祉サービス等収入	44,249
雑収入等	17
拠点区分間繰入金収入	29,088
サービス区分間繰入金収入	5,563
繰越金	18,572
合計	318,491

支出

(単位：千円)



法人運営事業	93,482
地域福祉活動推進事業	2,120
給食サービス事業	4,085
善意銀行事業	761
善意銀行事業(北浦地区)	1,168
共同募金配分金事業	3,817
居宅介護支援事業	29,966
居宅介護等事業	76,584
障害福祉サービス居宅介護事業	19,576
受託事業	52,837
指定管理運営事業	34,095
合計	318,491

いっしょにいきいき長寿者紹介

茅場博さん 96歳（行方市羽生）



茅場博さん

「どうぞ、あがつてください。」と笑顔で出迎えていただきました。ご本人ですかと確認をしたくなるようなお元気な方でした。

まず目に飛び込んできたのが、トロフィーやメダルの数々です。「すごい数のトロフィーやメダルですね。」と伺うと、「まだ、奥の部屋にもあるんだけど、ゲートボールでもらったものだよ。様々な大会に出場して獲得

したんだ。全国大会で山口県に行ったり、東京ドームでもゲートボールをしたことがあるんだよ。」と満面の笑顔でお答えいただきました。

茅場さんは行方市羽生でお生まれになりました。戦時中は満州へ渡り、厳しい環境の中で生活をされていたそうです。その後、この地に戻られ稲作や養蚕等を営み現在にいたるそうです。

手先が器用で記憶力もよかったです。茅場さんは、職人の方の作業を観察して、自宅の敷地内にある小屋や、自宅土間に部屋等を自分の手で建ててしまったそうです。「一度見ればコツがつかめたし、何事にも挑戦したい性格なんだ。」また、自宅が国道沿いにあるため、「何度か自動

車に扉を壊されたから直したものだよ。」「扉の基礎部分は、私と息子とで直したものを今でも使っているんだよ。」と同席していた息子さんと、顔を見合わせながらおっしゃっていました。

趣味や日課について伺うと「天気がいい日には、堤防を散歩しているよ。2^{キロ}は歩くかな。また、2〜3年前から、娘が買ってきてくれた数字のパスルをやっている。日曜日の新聞にも掲載されているので、毎週楽しみにやっているよ。」雑誌を拜見すると、現在は上級者向けのページを進めている最中でした。

また、現在でも運転免許を所持しており、週に3回はバイクで買い物等に出かけているそうです。「免許はゴールドだよ。来年更新にいけば、100歳を超えても乗るようだね。」とお話くださいました。

そして、ゲートボールについて伺うと、「前には友人から助っ人に来てくれと電話があったこともあるんだよ。」「始めたときは、あまりやる気はなかったん



獲得したトロフィーの数々

だけど、負けず嫌いの性格から、優勝するまでやってやるという気持ちに変わったんだよ。」「仕事の合間に、よく練習したよ。」と楽しそうにお話ししてくださいました。

茅場さんは最後に「散歩をして体を動かし、数字のパスルで頭を動かし、バイクに乗って集中し、好き嫌いなく何でも食べることが心がけている。」と元気の秘訣を教えてくださいました。

これからもお体に留意され、ますますのご活躍をご期待申し上げます。

インタビューコーナー

福祉な声

今回は高校時代にボランティア活動をされ、現在は看護専門学校に通われている、須田千尋さんにお話を伺いました。

「ボランティア活動を始めたきっかけを教えてください。」

祖父は体が不自由で、電動車いすに乗っていました。祖父の手伝いをしている中で、周りの人の視線が気になることがあり、自分にとっては当たり前前のことでも、他の人から見るとそうではないということに違和感があったのを憶えています。そんな中で、色々な人と接して広く学びたいという気持ちを持つようになりました。学校を通じて認知症サポーター養成講座の案内があり参加したのがきっかけです。

「これまでどのようなボランティア活動等をしてきましたか。」

認知症サポーター養成講座の他にも、障害者スポーツ講習会の競技補助ボランティアや、障害者フライングディスク競技大会の運営ボランティア



須田千尋さん

ア、特別養護老人ホームあそこの郷の「福祉の心を育む事業」の中で、納涼祭のボランティア等を経験しました。

―今まで一番印象に残っている活動はなんですか。

障害者フライングディスク競技大会運営ボランティアです。競技者一人一人が自分の目標を持って競技に臨んでいる姿があり、私自身、中学・高校とバレーボール部に所属し、目標に向かって活動していた自分と同じだと共感することができたからです。そして、主催者・運営ボランティア・競技者・応援者、会場にいる全ての人が、一つの輪となり大会を進めていく姿に感動しました。

―今後、興味のあるボランティアはありますか。

傾聴ボランティアに興味があります。私は現在看護師を目指しています。私は患者さ



障害者スポーツ講習会競技補助ボランティア

んやその家族も含めて寄り添って、多くの人の人生に関われる看護師を目指しています。そのような看護師になるため、患者さんや家族の不安や悩み等に耳を傾けていきたいと思っています。ですから傾聴ボランティアに興味があります。

―ボランティアをして、自分の中で変化などはありましたか。

最初は先入観で、相手に対

して、何かをしてあげなければという気持ちでいました。しかし、その気持ちが相手にも伝わってしまいうまくいきませんでした。活動を進めていく中で、自分も楽しむことで相手も同じ気持ちになり、共感できることを感じました。自分自身に素直になることが、大切だと思うようになりました。

―最後にボランティア活動について感想をお聞かせください。

私は、ボランティア活動を通じて貴重な経験をする事ができました。活動の現場に参加することで、様々な人と出会い、得るものが多くありました。特に、中学生や高校生の皆さんに、ボランティア活動に参加してほしいと考えます。私自身も高校時代に経験することができ、これらが自分の進む道の基礎になったと感じます。これからもボランティア活動を通して、た

くさんの人と関わり経験をしたいと思います。



きっかけとなった認知症サポーター養成講座
(前列右から2人目が須田さん)

―誌面に掲載した以外にもたくさんのお話をいただきました。そして取材を通して須田さんの福祉やボランティア、現在学んでいる看護に対する思いを感じました。これからのますますのご活躍をご期待申し上げます。お忙しい中、ありがとうございました。

社協のせーびす⑨

行方市社会福祉協議会訪問介護事業所

住み慣れたご自宅での介護をご希望される方、介護でお困りの方、
お気軽にご相談ください。

社協のホームヘルパーが、
ご自宅を訪問して身の回りのお世話をいたします。

社協訪問介護事業所のできる介護・援助をご覧ください
きっと皆さんのお役に立てるはず !!

ご家族などへの
介護相談

排泄、
食事の介助

日常生活の援助
《洗濯、調理、
買い物、掃除など》



健康チェック
《血圧測定、検温など》

入浴、清拭の介助



移乗、移動介助
《車イス⇄ベット間の移動など》



身体整容
《歯磨き・うがい・洗面
爪切り・整髪など》

障害者への
移動支援事業

自立生活支援の為の
見守りの援助

要介護、又は要支援認定を受けた方、障害支援区分認定を受けた方が対象です。

詳しくは、お気軽にお問い合わせください

お問合せ 在宅福祉係

電話 0299-36-2020

FAX 0299-55-4545



老人クラブ会員募集

～あなたも仲間に入りませんか～

行方市老人クラブ連合会



老人クラブは地域を基盤とする高齢者の自主組織です。

戦後先覚者の提唱と、社会福祉協議会の協力により、各地に広がって参りました。

これは高齢者の皆さんが誰とでも仲良く、互いに助け合い、地域のために先輩たちが作ってくれた伝統ですので消すわけにはいきません。

現在、全国では高齢者が3,000万人を超えたとされており、行方市では、65歳以上の男性の方は約4,800人余り、女性の方は6,200人余り、まさに高齢化の時代です。

しかし、全国的には、高齢者の皆さんは老人クラブ加入を敬遠されている状況にあります。行方市でも、クラブの廃止や会員の減少などがみられ非常に残念です。

このような状況をうけて、全国老人クラブ連合会では、平成26年度から5か年計画で老人クラブ「100万人会員増強運動」を推進しております。老人クラブが目指すものとして、「生きがいづくり・健康づくり・仲間づくり・地域づくり」の4つの“づくり”を基本理念として実施しております。

この計画も今年で2年目を迎え、さらなる老人クラブ加入者の増加及び会員の皆さんが安心安全に暮らしていけるよう、豊富な知識と経験を活用し、福祉のためにがんばっていきます。

行方市老人クラブ連合会や各单位老人クラブでは、健康で安全に明るく楽しい生活をめざして以下のような活動をしております。

<活動の例>

定例会・親睦研修旅行・スポーツ交流（クロッケー・ゲートボール・グラウンドゴルフ・輪投げ・ペタンク・ニュースポーツ等）・親睦交流会（カラオケ・踊り・手品等）・奉仕活動等

老人クラブ入会をよろしくお願いいたします。



お問合せ 地域福祉係 ☎0299(36)2020



輪投げ大会



ねんりんスポーツ大会（ゲートボールの部）

行方市ボランティア連絡協議会研修会

3月15日、麻生公民館で、ボランティアグループや個人ボランティアなどおよそ60人が一堂に会し、「行方市ボランティア連絡協議会全体研修会」が開催されました。

この研修会は、ボランティア活動の魅力を発信するとともに、会員同志が出会い、情報交換する場として、毎年内容を変えながら開催しています。

今回は、テーマを「参加しやすいグループづくり」とし、常磐大学コミュニティ振興学部教授 池田幸也先生を講師に迎えて開催しました。



池田先生の助言によるグループワーク



グループ発表

知的障害者自立生活支援の会「テクム」

テクムは、知的障害者の外出や、一般の方との交流の場への参加などを目的とした、家族・支援者の会です。

総会、懇親会等の会員の交流や、意見交換。年2回の遠足などで、知的障害者の外出の機会を設けています。

また、行方市公民館まつりへ模擬店を出店し、地域の方と交流しています。

知的障害者と家族・支援者が楽しめる活動を目指していますので、参加していませんか。

入会希望の方は、社会福祉協議会までご連絡ください。



公民館まつりでの模擬店の様子

お問合せ 地域福祉係 ☎0299 (36) 2020

給食サービスボランティア募集（玉造地区）

ひとり暮らしの高齢者等を対象に、お弁当を届ける給食サービス事業を行っています。（月3回・木曜日）

そこで、お弁当の調理及び配達に協力していただける方を募集します。興味のある方は下記連絡先までご連絡ください。

地域の方のご協力をお待ちしています。

☆活動内容 お弁当の調理・配達

お問合せ 地域福祉係 ☎0299（36）2020



夏休み、みんなで一緒に過ごしませんか？

のびのびサポート参加者募集



対象者 市内在住の特別支援学校等の児童・生徒 ※処遇することが困難な医療を要する方を除く

実施日 平成27年 7月28日（火）29日（水）30日（木）
8月11日（火）12日（水）18日（火）19日（水）
25日（火）26日（水）27日（木）

時間 午前9時から午後4時まで

場所 行方市玉造保健センター

内容 集団（音楽）遊び、自由遊び、プール等

定員 10名（定員を超えた場合は抽選により決定いたします）

参加費 1,000円（1日あたり）



詳細につきましては、お問合せください。

お問合せ 地域福祉係 ☎0299（36）2020



平成27年度茨城県介護支援専門員実務研修受講試験

■ 試験期日 平成27年10月11日（日）午前10時開始

■ 試験会場 茨城県内数か所を予定

■ 受験願書の受付

（1）受付期間 平成27年5月26日（火）～平成27年7月10日（金）※当日消印有効

（2）受付方法 簡易書留で郵送されたもののみ受付

（3）郵送先 茨城県社会福祉協議会福祉人材・研修部あて

※出願書類については、茨城県社会福祉協議会及び茨城県長寿福祉課地域ケア推進室のホームページからダウンロードした様式でも可能です。ただし、受験手数料の振込用紙は、ホームページからダウンロードできませんので、返信先を明記のうえ82円切手を貼った返信用封筒を、「振込依頼書請求」と朱書きした封筒に同封して茨城県社会福祉協議会福祉人材・研修部あて（問合せ先参照）請求すること。

■ 試験合格発表日時 平成27年12月10日（木）午前10時

※その他詳細については下記連絡先へ、お問合せください。

■ 問合せ先 〒310-8586 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部 電話 029（241）4121

皆様からの寄付金・預託金 (順不同・敬称略)

寄附金

預託者名	金額(円)	指定先
郡 司 良 明	20,000	無指定
稲 垣 伸	20,000	北浦地区
根 本 保 夫	10,000	北浦地区
小 室 一 男	10,000	北浦地区
清 水 量	20,000	北浦地区
原 正 浩	10,000	北浦地区
花で彩るまちづくり会	5,000	無指定
日 下 誠	20,000	北浦地区
岡 里 一 作	20,000	北浦地区
吉 田 英 一	10,000	無指定
方 波 見 力	10,000	無指定
元 麻 生 中 学 校 第 1 3 回 卒 業 会 古 希 同 窓 会	75,000	無指定
高 柳 卓 雄	10,000	北浦地区
行 方 市 図 書 館 文 学 散 歩 参 加 者	1,304	無指定
戸 大 建 設 工 業 株 式 有 限 公 司	50,000	無指定
小 林 兼 一	10,000	北浦地区
清 宮 正 彦	20,000	無指定
高 柳 長 生	10,000	北浦地区
方 波 見 榮 治	20,000	北浦地区
齋 藤 隆 男	20,000	北浦地区
荒 張 高 一	20,000	無指定

行方市善意銀行

平成27年2月1日から平成27年4月30日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介いたします。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

ご指定いただいた寄付につきましては、指定の事業に使わせていただきます。皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

物品寄付

預託者名	預託品	指定先
行方生活学校	牛乳パック	障害者地域活動支援センター
明るい社会づくり運動 行方市麻生地区 推進協議会	固形石鹸・フェイス タオル・アクリルタワシ・ポケットティッシュ・花束	障害者地域活動支援センター
常陽ボランティア倶楽部	折りたたみ式リヤカー	無指定
匿名	米1俵	北浦地区給食サービス



常陽ボランティア倶楽部

広報委員

委員長	大軒 光江
副委員長	代々城千尋
委員	大久保 守
	菅谷 京子
	磯山 正子
	高橋さち子
	山崎 實
	横田 照実
	石橋 展子
	渋谷 節夫

編集後記

寒さのあまり体がかたくなり、肩や腰が泣いている様で春を待っていました。

いつもの年よりは、桜の開花も早くぽかぽかと身も軽くなる思いでしたが、厳しい寒の戻りに私の体はびっくり。それにも負けないで力強く咲く桜は美しく感動しました。

そして若葉となり、あおぞらに写る新緑に新しい春を思い私も元気になりました。

編集委員 石橋 展子

